

FSJGに関心のある方へ

■ 家族の方へ

同じような悩みをもつ家族として体験を共有しながら、ひきこもりを理解し、適切な対応を学び「親」もはじめの一步をさがしませんか！

例会 — 日時：月1回 最終日曜日午後 場所：大阪市内 参加：親限定
例会費：3000円

相談 — 随時

☆ 詳しくはお問い合わせください。

■ 支援に関わっておられる機関の方へ

当事者家族として今必要としている援助の発信や、活動の成果を社会に還元することも行なっていきたいと考えています。そのためにも援助機関の方々と共に考え連携していきたいと思っています。

■ 仕事を提供して下さる方へ

最初の社会参加につながる「はじめの一步（ファーストステップ）」としてのひきこもりのままのできる「仕事（ジョブ）」は、グループ内ジョブから始め、次第にその範囲を広げていきます。グループ外ジョブは本人達にとって選択肢の拡大、行動の機会の拡大となります。そして、それがさらなるセカンドステップへとつながることになります。「仕事成立への援助」は様々な関係者の方々との連携が不可欠です。活動を理解して下さり、「ジョブ」を提供いただけることを願っています。

■ 活動に賛同して下さる方へ

FSJGは一つの新しい援助として、これまでである一定の成果をあげてきています。さらにたえず進化しつづけています。しかし、親たちが運営する実践グループです。活動費用は会費で賅っています。時期や金額に関わらず、随意にご支援くだされば幸いです。

振込先 郵便貯金 ば・る・る
口座番号 14420-49107711
口座名 ファーストステップ・ジョブグループ

FSJGに関心のある方

FSJGに仕事の提供を考えて下さる方
親としてできることは？と思っておられる方
どうぞご連絡ください。

ファーストステップ・ジョブグループ事務局

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1
立命館大学人間科学研究所 気付

上田 陽子

Tel 090-9253-7052

E-mail yyn-yoko@kcn.ne.jp

<http://www.human.ritsumei.ac.jp/fsjg/>

親と子でつくる ひきこもり援助グループ

ファーストステップ・ジョブグループ

FSJG

脱ひきこもり支援

・・・ひきこもらない支援・・・
・・・従来のひきこもり支援ではない支援・・・
・・・いつでも最初の一步を認める支援・・・

「ひきこもり」をとりまく状況

ひきこもりについては、公的機関および民間においても様々な援助が試みられるようになってきました。しかし、長期化したひきこもりについては必ずしも適切な支援方法が示されたわけではありません。そこで用意される「場」まで出向けない、さらには提供された援助では改善が難しい当事者は、かえって取り残されることとなります。既存の援助の届かないところで苦悶する当事者本人、および、こうした長期化した「ひきこもり」を抱え、具体的な打開策を得られないまま悩みつづけている家族が多く存在します。

ファーストステップ・ジョブグループ (FSJG) とは

■長期化した「ひきこもり」を対象に社会参加に向け自発的な行動を促していくことを目的に、2002年 8月に当事者家族で結成されたグループです。

■ひきこもり当事者本人と親でつくるグループです。

■親が中心になって活動しています。

■「できる部分」に注目し、それぞれの可能性のある「開かれた社会」の中で、より良い方向に向けどうすればいいかを具体的に考え、取り組んでいます。

■それぞれの個人について、「やりたい」と思える行動を成立させ、さらにその選択肢を増やすこと(行動の機会をもち、その機会が拡大していくように)を活動の目標にしています。

■社会的関係 - 「仕事」という行動を通じて社会と関係をもつ - を、今、実現するための援助グループです。

「今」を認め、今ひきこもりのままでできることを支援していこう



「今ひきこもりのままでできる行動」を認める環境を創っていこう



ひきこもりのままでできる「仕事」を創出し、

「仕事をする」行動の成立を援助していこう

● ここでの「仕事」とは？

- ・ 訓練ではない
- ・ 治療的活動ではない
- ・ ひきこもりのままでできる社会的行動としての「仕事」

● なぜ「仕事」なの？

- ・ 仕事をするとは対価を受け取ること → 個人と社会との交換関係
- ・ 一方的に与えられるのではなく自分の力(援助付きでも)で得るということ = 自発的な行動 → 生活の質の目標

活動の基本

親と子で「ジョブユニット」を作り、「親」が創出(あるいは受注)した仕事を、グループの他者の「子」に提供し、グループから報酬が支払われます。

本人宛に毎月定期的に「仕事メニュー」を郵送→「やってほしい」と思う仕事があればそれに印をつけ返信→選んだ仕事について様々な援助つきで実行 → 繰り返しです。



実現するために本人の自己決定を徹底的に尊重します。

仕事の選択肢 — グループ内の「家事手伝い」から始まり、内職、本人に見合った創出仕事、外部からの提供仕事、外部へ行く仕事へと拡大していきます。

FSJGの卒業 — FSJGの仕事以外の「仕事」などに、当事者本人が自発的に参加するようになった時点で「卒業」です。
☆もちろん復学もいつでもOKです。

歩み

2002年 春 当事者親が「ファーストステップ・ジョブグループの提案」をし、参加者を募る

2002年 8月 グループ結成

2002年 9月 活動開始

2004年 9月 結成2年目活動報告およびグループ説明会開催

2005年 7月 きょうとNPOセンターと連携開始

2006年 2月 立命館大学特別公開企画「当事者と共に創る対人援助学」において実践報告

2006年 8月 連続講座「親としてできることは・・・」開催

他に毎年、活動報告、および、外部講師を招いての研修、勉強会などを開催

運営

■ FSJG

代表 上田陽子(立命館大学人間科学研究所客員研究員)

FSJGメンバー(当事者家族)

■ 協力者

望月 昭(立命館大学教授)

中村 正(立命館大学教授)

高垣 忠一郎(立命館大学教授)

前田 ハル子(NPO法人ユースサポートネットとも常任理事)

野池 雅人(NPO法人きょうとNPOセンター・チーフコーディネーター)

■ 協力機関

立命館大学人間科学研究所

NPO法人 きょうとNPOセンター